

## 県内の景気動向

概況（2013年5月）

景気は、緩やかに拡大している

観光関連では、入域観光客数が前年を上回る

消費関連では、電気製品卸売が前年を上回る

5月の県内景気をみると、消費関連では、スーパー（既存店）は前年を下回ったものの、百貨店、スーパー（全店）、新車販売、電気製品卸売は前年を上回った。建設関連では、建設受注は前年を下回ったものの、公共工事、資材関連は引き続き前年を上回った。観光関連では、入域観光客数は、LCC就航効果、新石垣空港開港効果などから引き続き前年を上回った。主要ホテルは、売上高は前年を下回ったものの、稼働率は引き続き前年を上回った。

総じてみると、消費関連は堅調な中、一部で弱含んでいるものの、観光関連は堅調に推移し、建設関連は底堅いことから、県内景気は緩やかに拡大している。

### 消費関連

百貨店売上高は、ゴールデンウィーク期間中や母の日における販売促進効果や催事効果などにより衣料品が増加したことなどから、2カ月ぶりに前年を上回った。スーパー売上高（既存店）は、前年に比べ気温が低かったことなどから衣料品、食料品ともに減少し2カ月連続で前年を下回った。全店ベースでは新設店効果が続いていることなどから10カ月連続で前年を上回った。新車販売は、レンタカー需要増加や新車投入効果などにより2カ月連続で前年を上回った。電気製品卸売販売は、太陽光発電システム補助事業効果などから4カ月連続で前年を上回った。

先行きは、堅調な中、一部弱含みの動きが続くものとみられる。

### 建設関連

公共工事請負金額は、国、県、市町村発注工事の増加から2カ月連続で前年を上回った。県内主要建設会社の受注額は、前年の反動減から4カ月ぶりに前年を下回った。建設資材関連では、セメント、生コンともに公共工事、民間工事向け出荷が増加したことから前年を上回った。鋼材は、民間工事向け出荷の増加などから5カ月連続で前年を上回った。木材は、戸建てや貸家向け出荷の増加などから3カ月連続で前年を上回った。

先行きは、底堅い動きが続くものとみられる。

### 観光関連

入域観光客数は、LCC就航効果、新石垣空港開港効果などから国内客が増加し、8カ月連続で前年を上回った。県内主要ホテルは、稼働率は7カ月連続で前年を上回ったものの、売上高が前年を下回った。主要観光施設入場者数は7カ月連続で前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数、売上高ともに前年を下回った。

先行きは、堅調な動きが続くものとみられる。

### 雇用関連

新規求人数（4月）は、前年同月比22.2%増と4カ連続で増加し、有効求人倍率（季調値）は0.51倍と前月より上昇した。完全失業率（季調値、4月）は6.8%と、前月から0.8ポイント悪化した。

### その他

消費者物価指数（総合、4月）は、食料、教養娯楽などの下落により、前年同月比0.3%減と11カ月連続で前年を下回った。企業倒産は、件数が6件で前年同月比1件減となり、負債総額は6億300万円で、同17.3%の減少となった。

# りゅうぎん調査（2013年5月）

増減率(%)

	前年同月比	前年同期比 (2013.3-2013.5)
<b>1. 消費関連</b>		
(1) 百貨店(金額)	0.8	0.3
(2) スーパー(既存店)(金額)	▲ 0.4	▲ 0.5
(3) スーパー(全店)(金額)	3.8	3.2
(4) 新車販売(台数)	0.5	3.3
(5) 電気製品卸売(金額)	23.2	17.8
<b>2. 建設関連</b>		
(1) 公共工事請負金額(金額)	5.3	14.1
(2) 建築着工床面積(m <sup>2</sup> ) (4月)	▲ 16.2	(2-4月) 38.8
(3) 新設住宅着工戸数(戸) (4月)	▲ 2.0	(2-4月) 31.9
(4) 建設受注額(金額)	▲ 68.5	▲ 0.2
(5) セメント(トン数)	14.8	6.7
(6) 生コン(m <sup>3</sup> )	18.7	15.5
(7) 鋼材(金額)	8.8	11.3
(8) 木材(金額)	11.5	11.2
<b>3. 観光関連</b>		
(1) 入域観光客数(人数)	10.0	8.6
うち外国客数(人数)	47.4	37.3
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) P 4.3	(前年同期差) P 5.0
	(実数) P 61.2	(実数) P 72.0
(3) " 売上高(金額)	P ▲0.2	P 2.3
(4) 観光施設入場者数(人数)	7.3	7.6
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	▲ 3.9	▲ 1.0
(6) " 売上高(金額)	▲ 2.9	1.1
<b>4. その他</b>		
(1) 県内新規求人数(人数)	(4月) 22.2	(2-4月) 12.9
(2) 有効求人倍率(季調値)	(実数、4月) 0.51	(実数、2-4月) 0.48
(3) 消費者物価指数(総合)	(4月) ▲ 0.3	(2-4月) ▲ 0.5
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) ▲ 1	(前年同期差) 0.7
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(4月) ▲ 3.1	(2-4月) 0.4

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

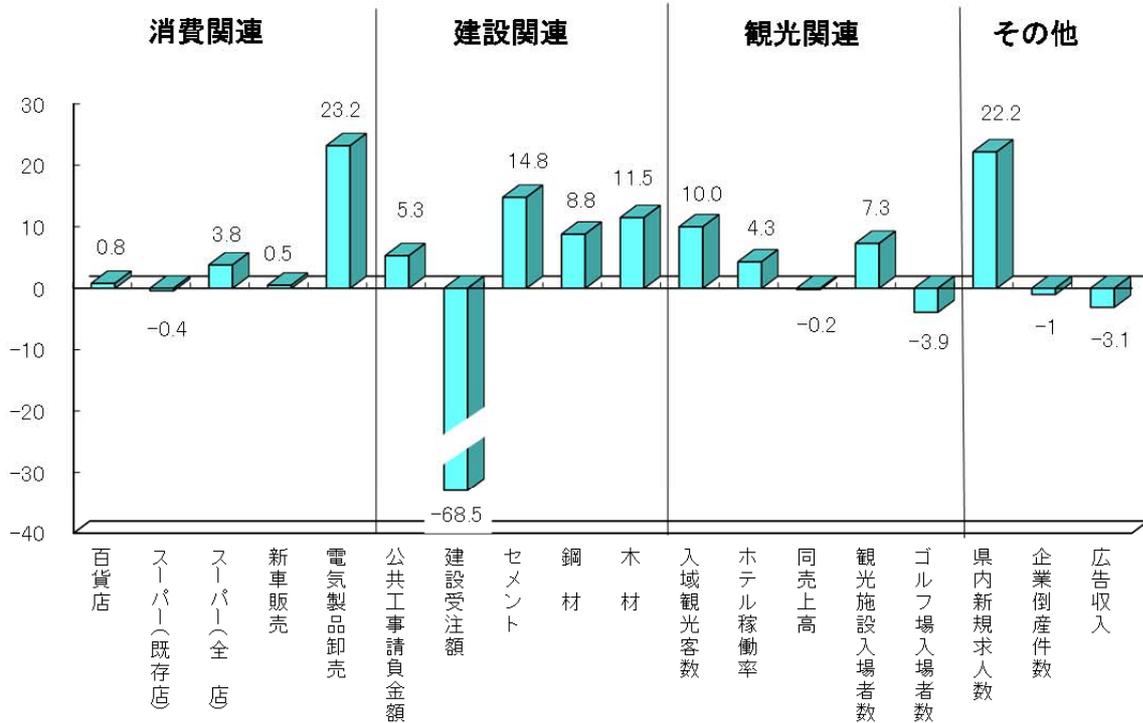
(注2) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

(注3) 主要ホテルは、2013年1月より調査先を19ホテルから25ホテルとした。

(注4) 観光施設入場者数は、2011年1月より調査先を6施設から5施設とした。

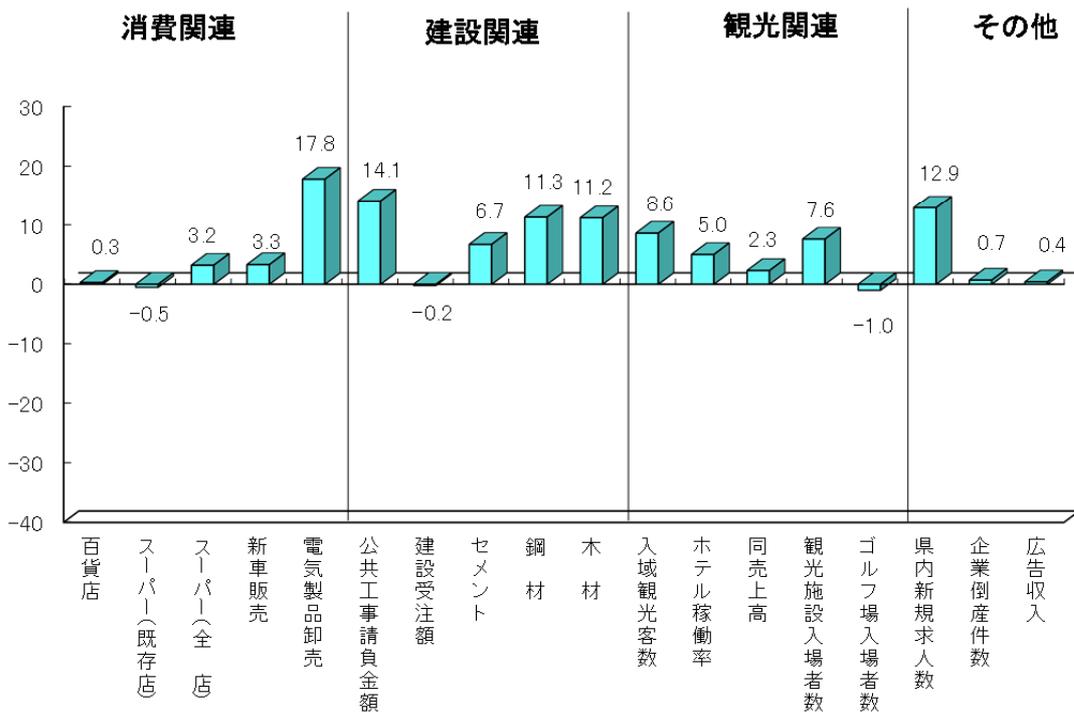
(注5) 企業倒産の前年同月差は、月平均の前年同月差。

項目別グラフ(単月、2013年5月)



(注) 県内新規求人数、広告収入は13年4月分。数値は前年比(%)。ホテル稼働率と同売上高は速報値。ホテル稼働率(%ポイント)、企業倒産件数(件)は前年差。

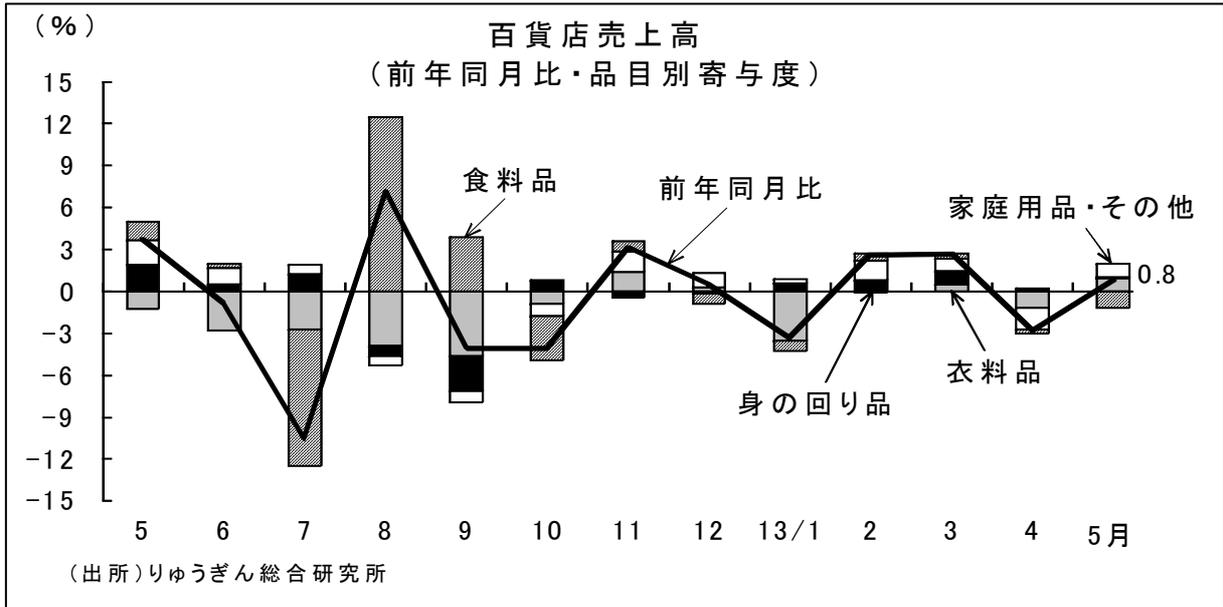
項目別グラフ(3カ月、2013年3~5月)



(注) 県内新規求人数、広告収入は13年2~4月分。数値は前年比(%)。ホテル稼働率と同売上高は速報値。ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は月平均の前年差。

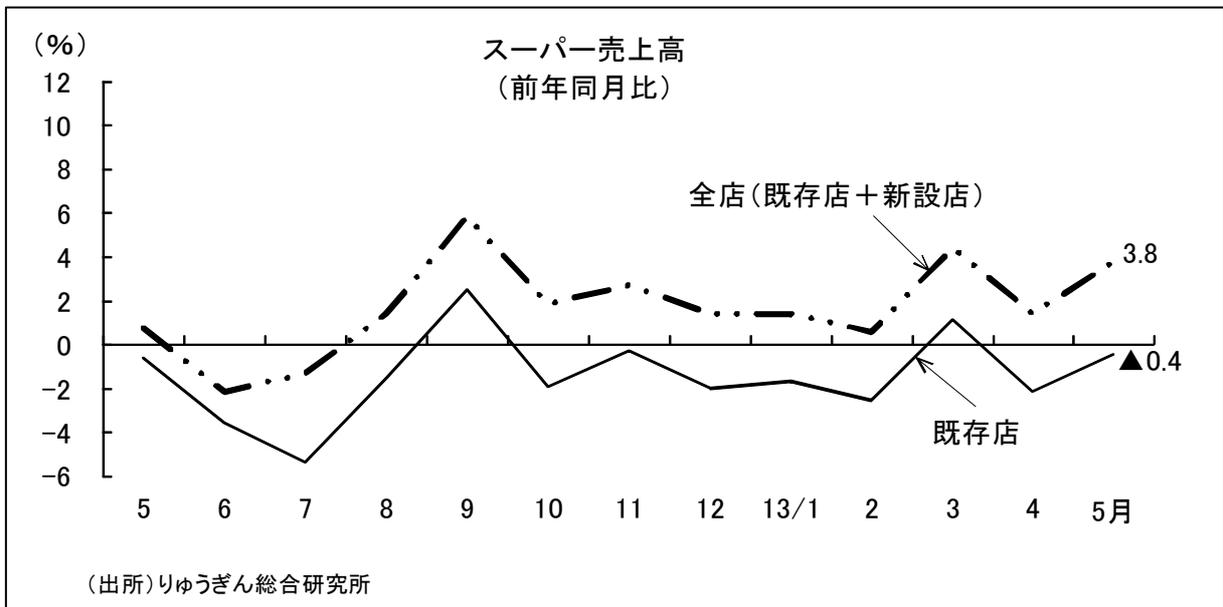
# 1. 消費関連

## (1) 百貨店売上高：2カ月ぶりに増加



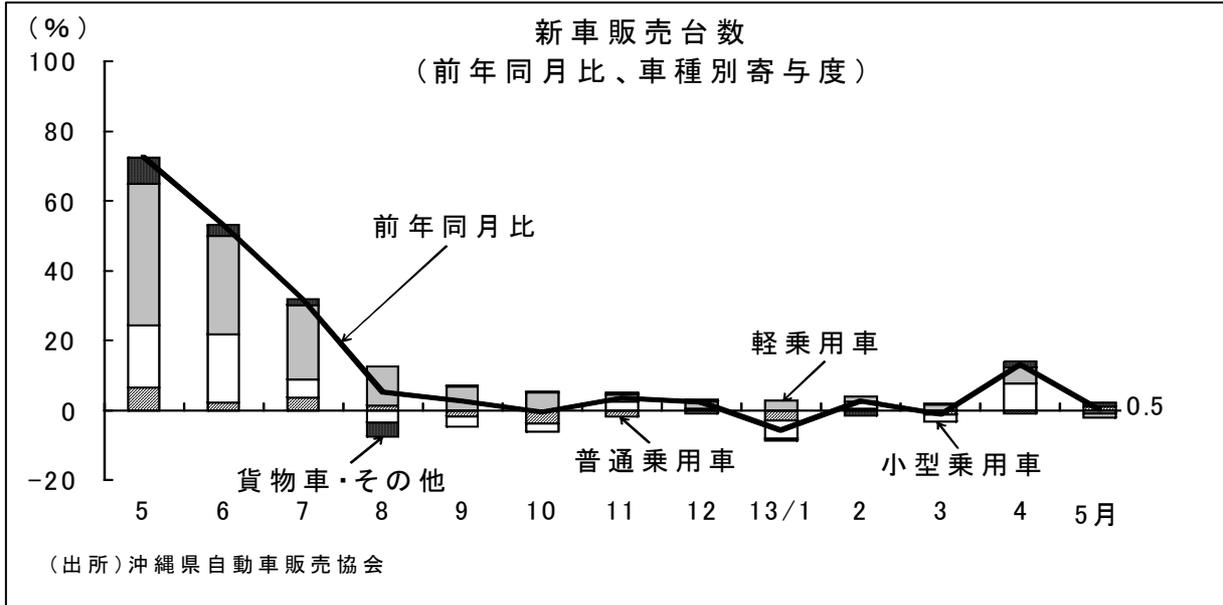
- 百貨店売上高は、前年同月比 0.8%増と2カ月ぶりに前年を上回った。食料品は、物産展期間中の天候不順などから客足が伸びず減少したが、衣料品は、ゴールデンウィーク期間中や母の日における販売促進効果や催事効果などから増加した。家庭用品・その他も増加した。
- 品目別にみると、家庭用品・その他 (同 4.0%増)、衣料品 (同 2.6%増)、身の回り品 (同 0.7%増)が増加し、食料品 (同 4.6%減)が減少した。

## (2) スーパー売上高：全店ベースは10カ月連続で増加



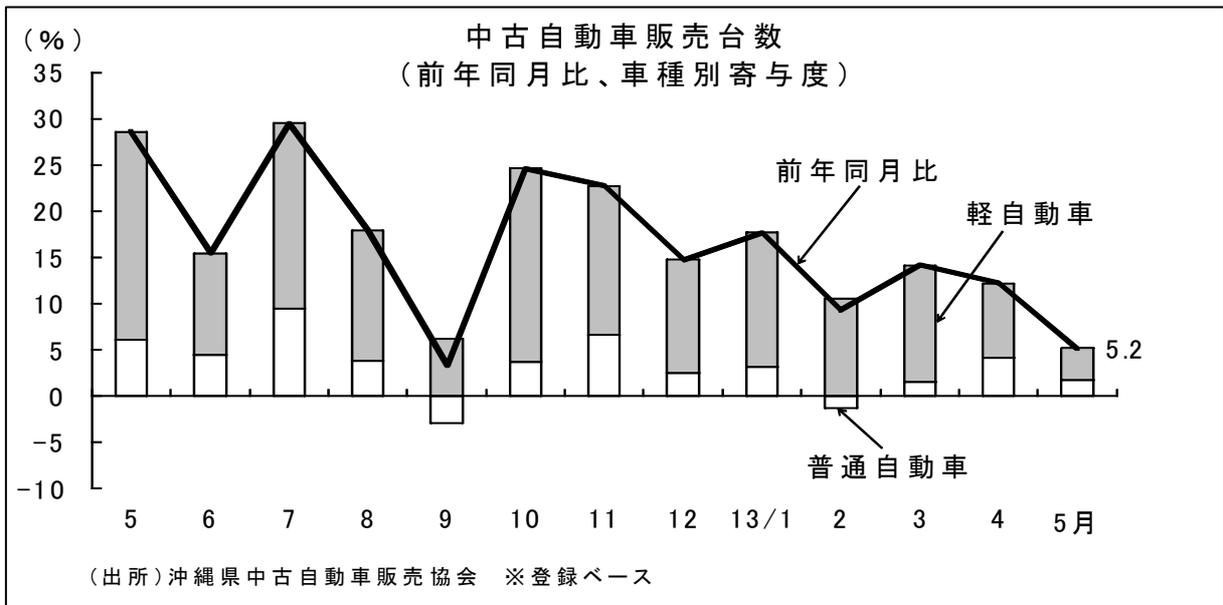
- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比 0.4%減と2カ月連続で前年を下回った。
- 衣料品は、前年に比べ気温が低く推移したことから減少し、食料品も上旬の気温が低く推移したことで、飲料やアイスクリームなど盛夏商材の動きが鈍く、減少した。家電を含む住居関連は、増加した。
- 全店ベースでは、新設店効果などから同 3.8%増と10カ月連続で前年を上回った。

(3) 新車販売台数：2カ月連続で増加



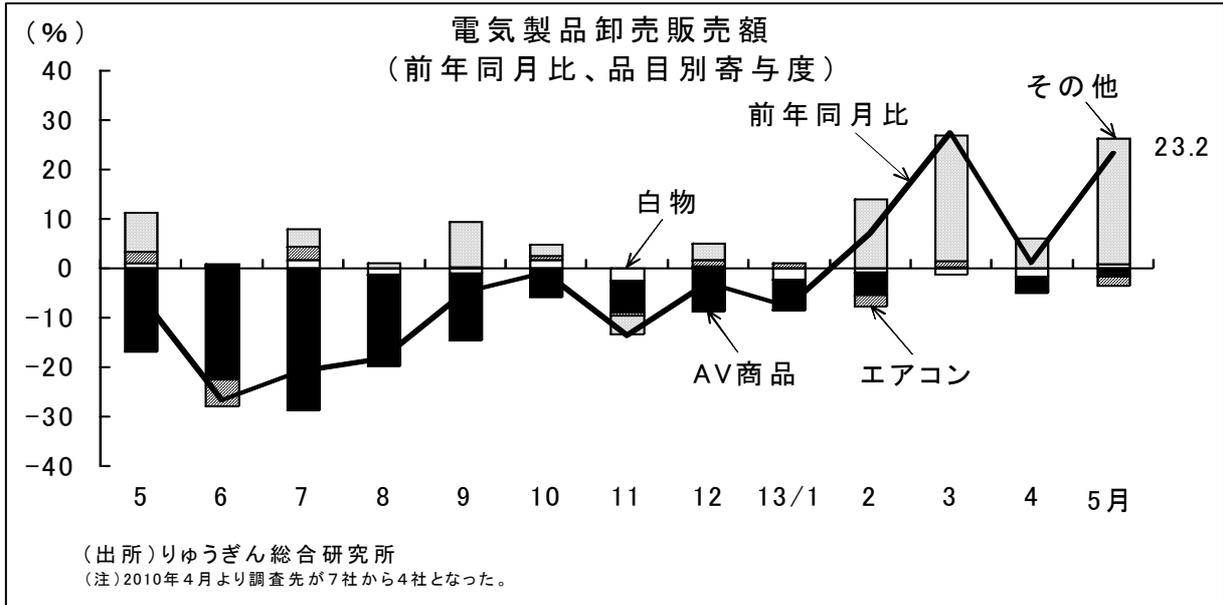
- ・ 新車販売台数は 3,217 台で、観光客増加を見込んだレンタカー需要や新車投入効果などにより前年同月比 0.5%増と2カ月連続で前年を上回った。エコカー補助金効果により水準の高かった前年同月を若干上回った。
- ・ 普通自動車（登録車）は 1,108 台（同 0.2%減）で、うち普通乗用車は 334 台（同 13.2%増）、小型乗用車は 655 台（同 3.8%減）であった。軽自動車（届出車）は 2,109 台（同 0.9%増）で、うち軽乗用車は 1,806 台（同 2.0%減）であった。

(4) 中古自動車販売台数（登録ベース）：16カ月連続で増加



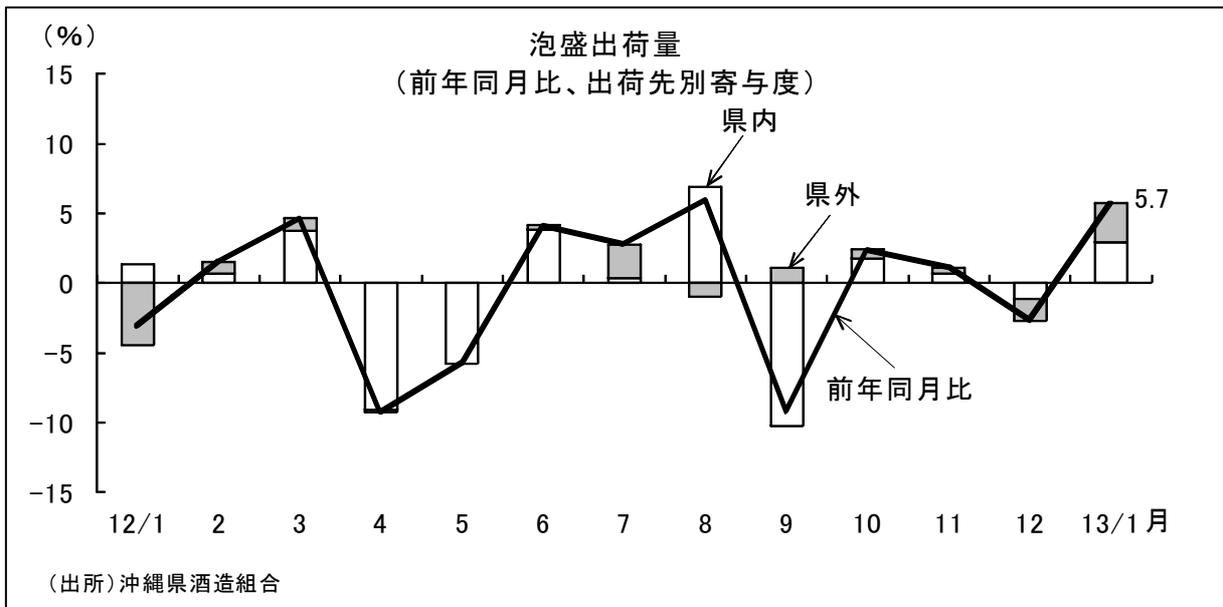
- ・ 中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は、前年同月比 5.2%増となり16カ月連続で前年を上回った。
- ・ 内訳では、普通自動車は同 4.6%増、軽自動車は同 5.6%増となった。

(5) 電気製品卸売販売額：4カ月連続で増加



- 電気製品卸売販売額は、国や市町村による太陽光発電システム補助事業効果に加え、住宅着工増に伴う太陽光発電システム設置の需要などにより前年同月比23.2%増と4カ月連続で前年を上回った。
- 品目別にみると、AV商品ではテレビが同26.3%減、DVDレコーダーが同17.3%増、白物では洗濯機が同6.1%減、冷蔵庫が同19.4%増、エアコンが同9.1%減、その他は同46.0%増となった。

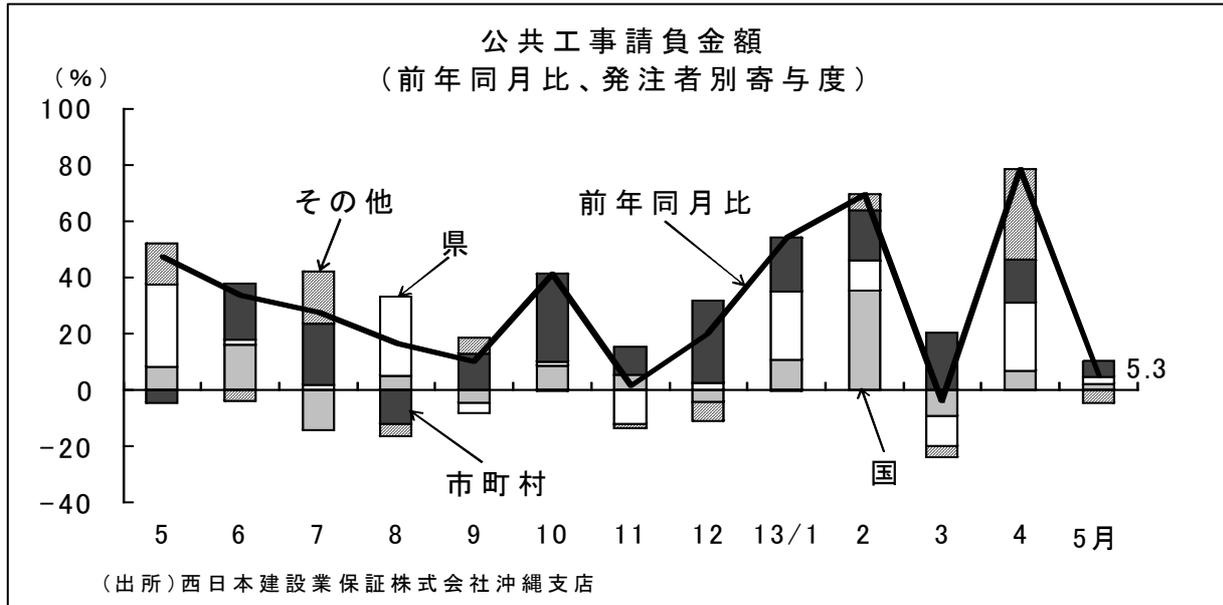
(6) 泡盛出荷量（速報ベース、再掲）：2カ月ぶりに増加



- 泡盛出荷量（1月）は、前年同月比5.7%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- 県内出荷量は同3.3%増となり、県外出荷量は同24.2%増となった。

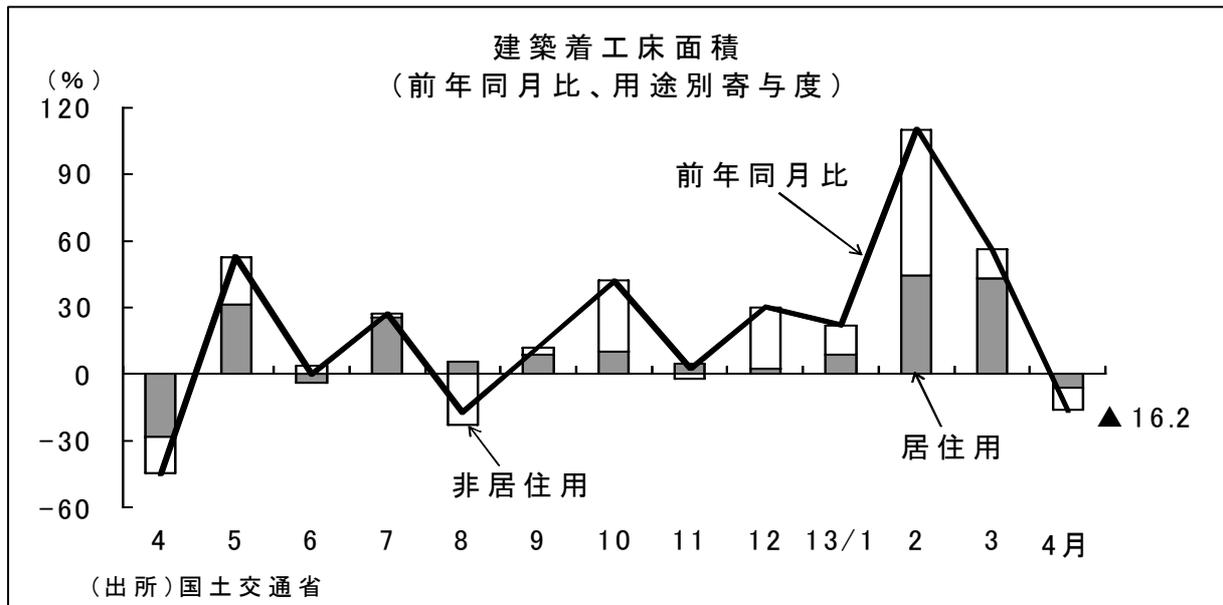
## 2. 建設関連

### (1) 公共工事請負金額：2カ月連続で増加



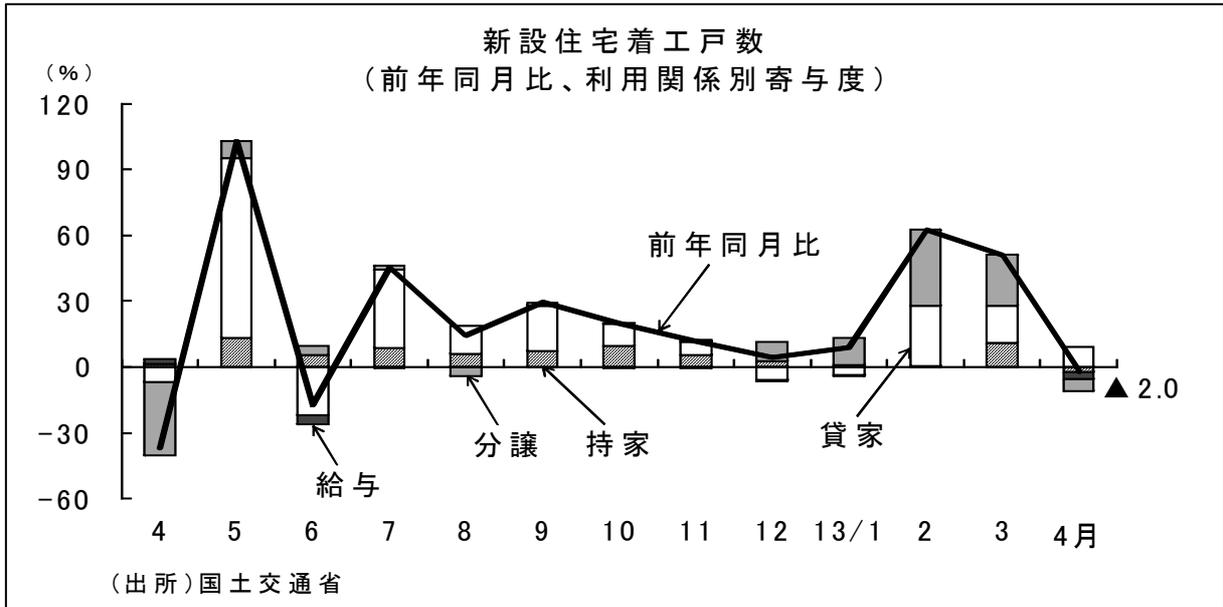
- 公共工事請負金額は、107億4,200万円の前年同月比5.3%増となり、国、県、市町村発注工事が増加したことから、2カ月連続で前年を上回った。
- 発注者別では、国（同6.1%増）、県（同8.7%増）、市町村（同22.2%増）が増加し、独立行政法人等・その他（同36.0%減）が減少した。
- 大型工事としては、那覇港（浦添ふ頭地区）臨港道路西洲海側橋梁上部工工事、新石川浄水場高度処理電気計装設備工事、沖縄市立山内小学校屋内運動場新增改築工事などがあつた。

### (2) 建築着工床面積：8カ月ぶりに減少



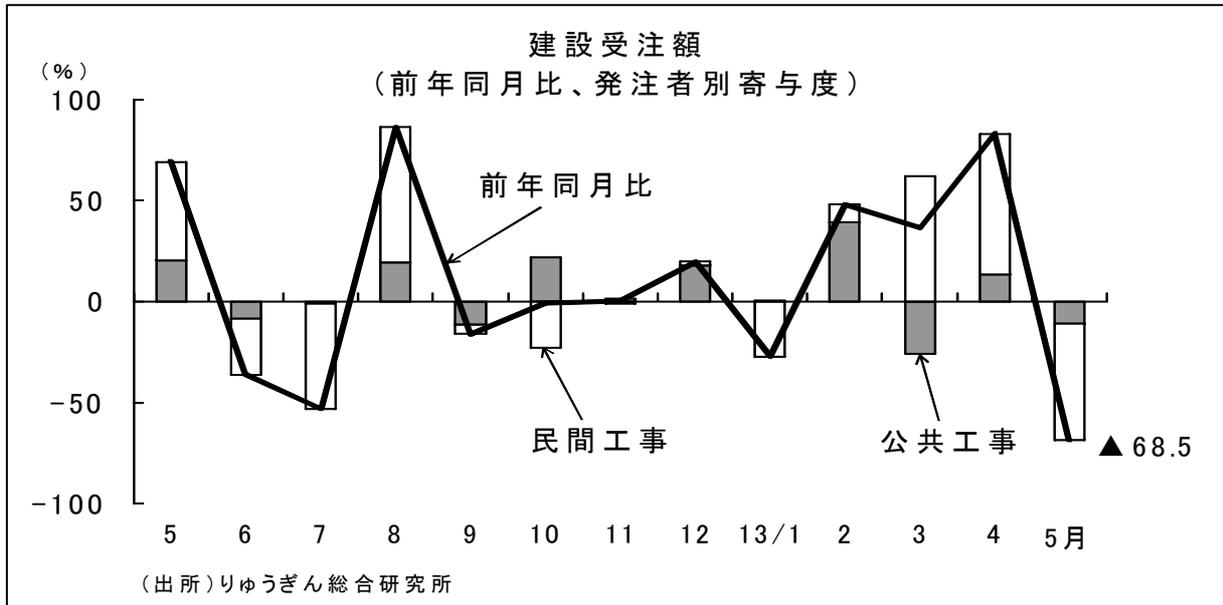
- 建築着工床面積（4月）は、12万1,552㎡となり、前年同月比16.2%減と、居住用、非居住用ともに減少したことから、8カ月ぶりに前年を下回った。用途別では、居住用は同9.8%減となり、非居住用は同26.4%減となった。
- 建築着工床面積を用途別（大分類）にみると、居住用では、居住専用、居住産業併用ともに減少した。非居住用では、運輸業用が増加し、教育・学習支援業用、医療、福祉業用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：10カ月ぶりに減少



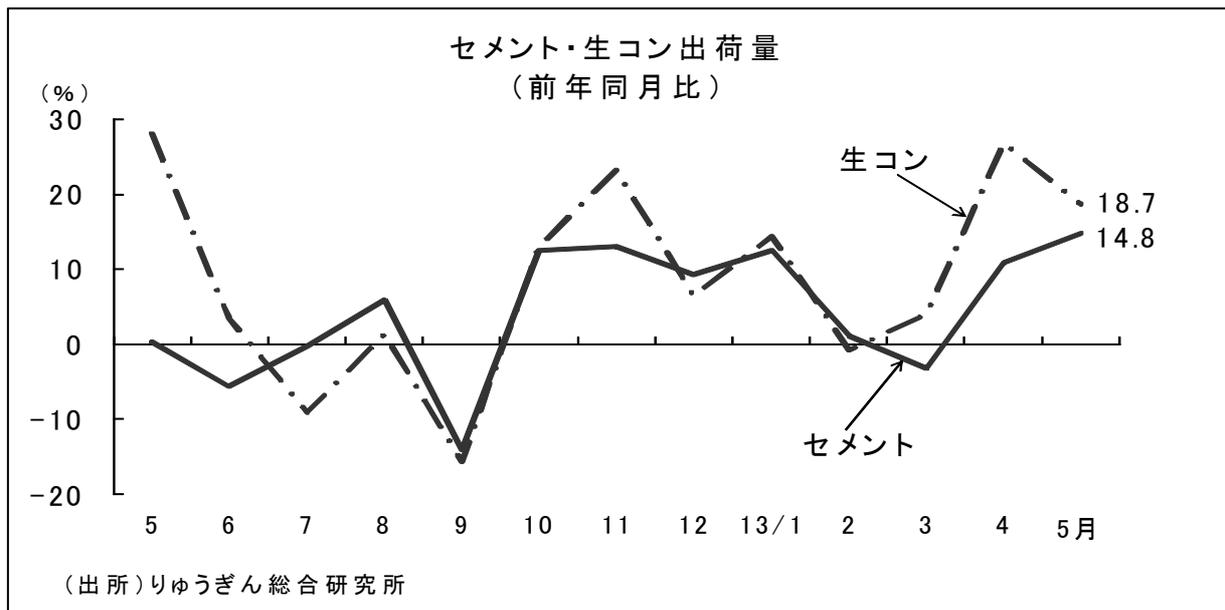
- ・ 新設住宅着工戸数（4月）は1,041戸となり、貸家は増加したものの分譲や持家が減少したことから、前年同月比2.0%減と10カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 利用関係別では、貸家（同16.3%増）が増加し、持家（同9.3%減）、分譲（同44.1%減）、給与（同91.4%減）が減少した。

(4) 建設受注額：4カ月ぶりに減少



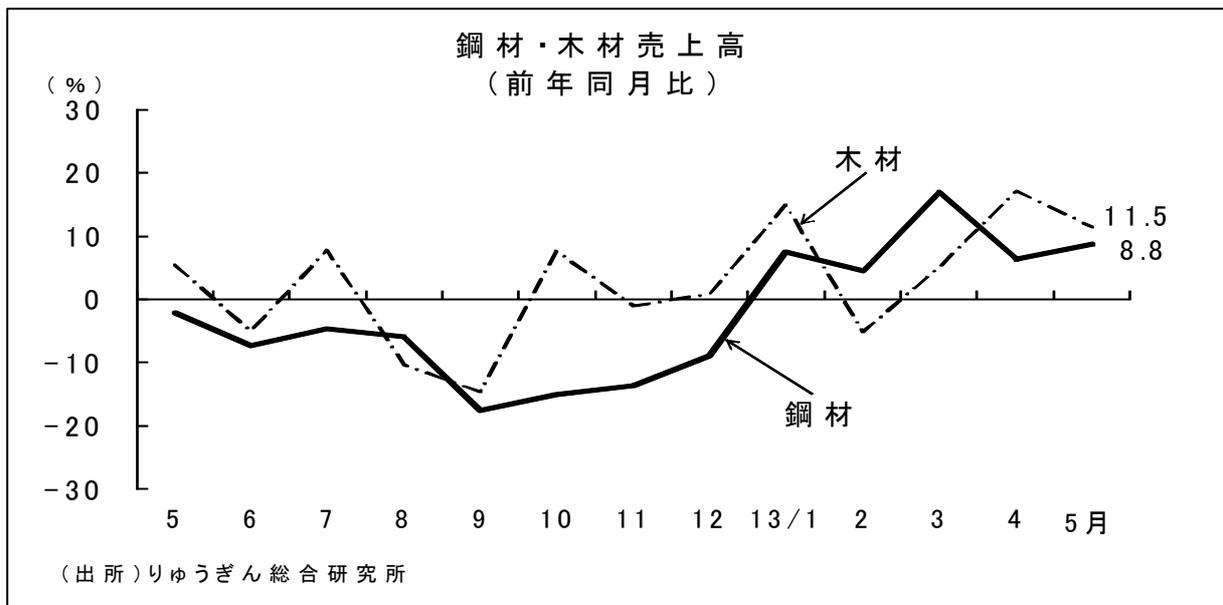
- ・ 建設受注額（調査先建設会社：20社）は、公共工事、民間工事が前年の反動により減少したことから、前年同月比68.5%減と4カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 発注者別では、公共工事（同77.0%減）は2カ月ぶりに減少し、民間工事（同67.1%減）は4カ月ぶりに減少した。

(5) セメント・生コン：セメントは2カ月連続で増加、生コンは3カ月連続で増加



- ・ セメント出荷量は、6万135トンとなり前年同月比14.8%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・ 生コン出荷量は、13万8,916㎡で同18.7%増となり、3カ月連続で前年を上回った。公共工事向け出荷、民間工事向け出荷ともに増加した。
- ・ 生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、学校関連や港湾関連工事向けなどが増加し、米軍関連工事向けなどが減少した。民間工事では、貸家や分譲マンション関連工事向けなどが増加し、宿泊施設関連工事向けなどが減少した。

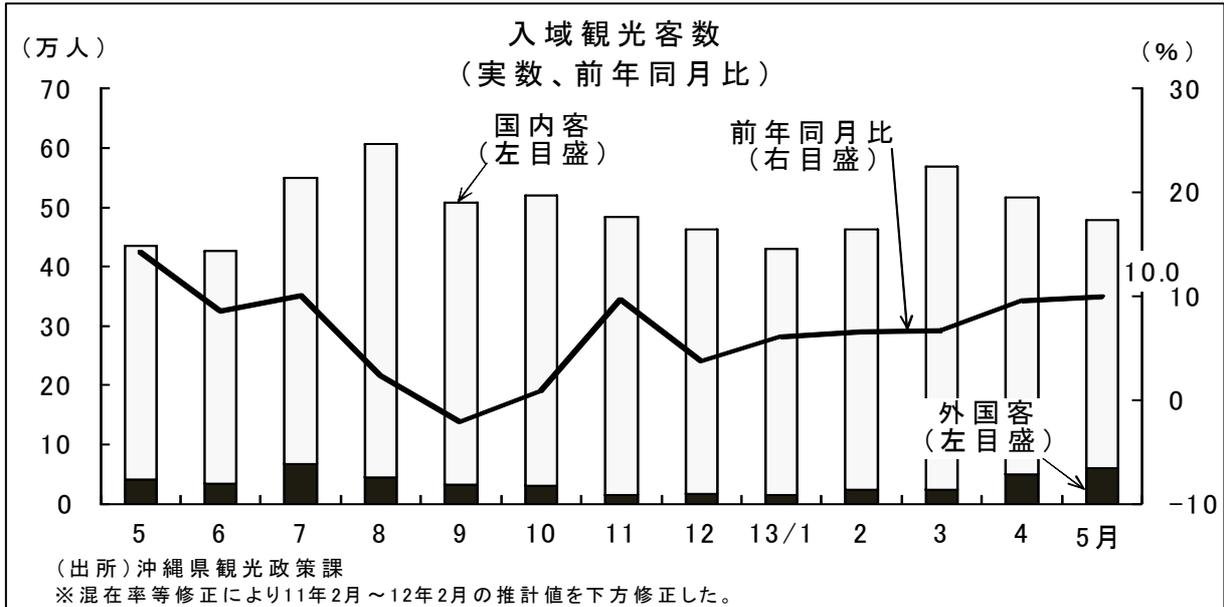
(6) 鋼材・木材：鋼材は5カ月連続で増加、木材は3カ月連続で増加



- ・ 鋼材売上高は、民間工事向け出荷の増加などから、前年同月比8.8%増と5カ月連続で前年を上回った。
- ・ 木材売上高は、戸建て住宅や貸家向け出荷の増加などから同11.5%増と3カ月連続で前年を上回った。

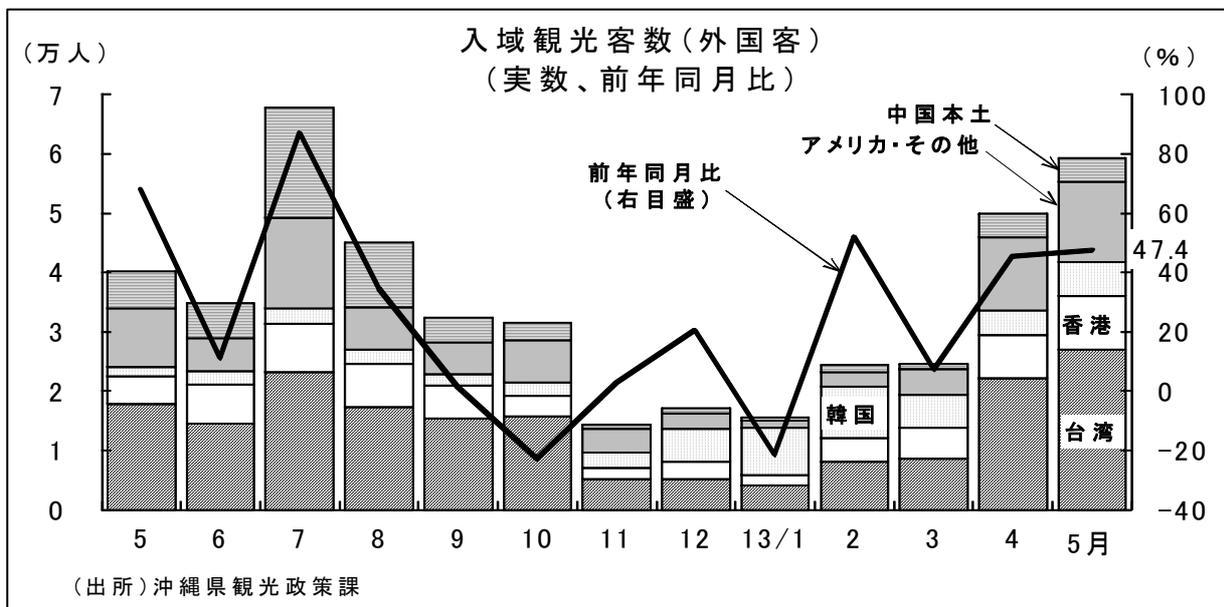
### 3. 観光関連

#### (1) 入域観光客数：8カ月連続で増加



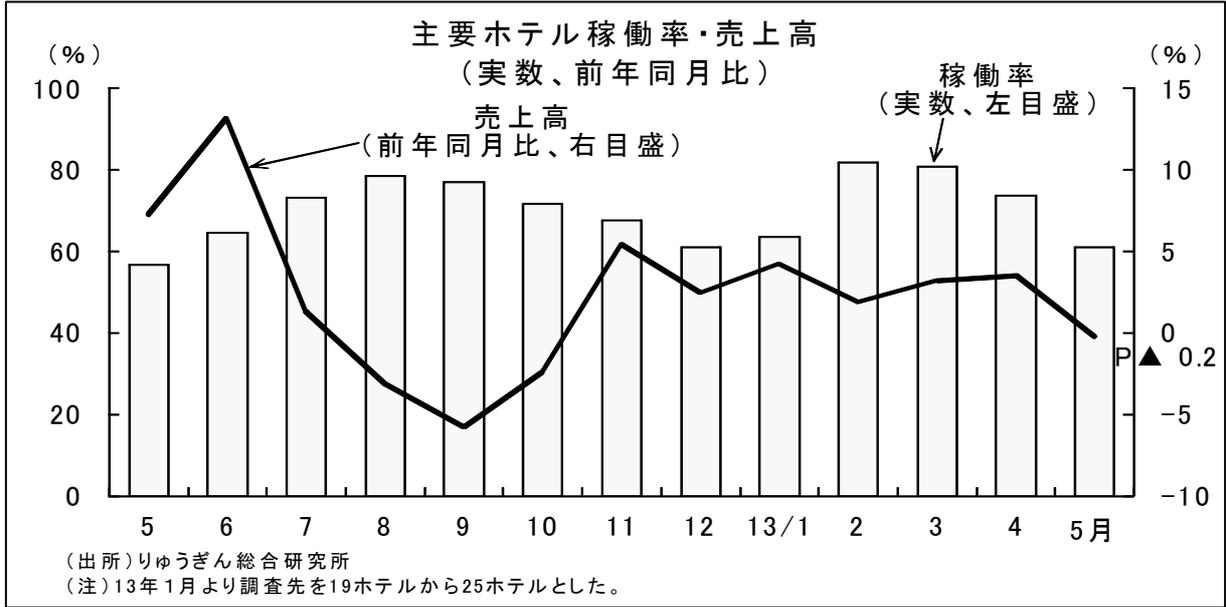
- 5月の入域観光客数は、LCC就航効果、新石垣空港開港効果などから、前年同月比 10.0%増の 47万7,600人となり、8カ月連続で前年を上回った。国内客、外国客ともに増加した。うち国内客は41万8,200人で、同6.1%増と8カ月連続で前年を上回った。
- 空路入域客数は、国内客、外国客が増加し、44万6,300人(同9.7%増)と、8カ月連続で前年を上回った。海路入域客数は、国内客は減少したが、外国客が増加し、31,300人(同14.2%増)と、2カ月連続で前年を上回った。

#### (2) 入域観光客数(外国客)：4カ月連続で増加



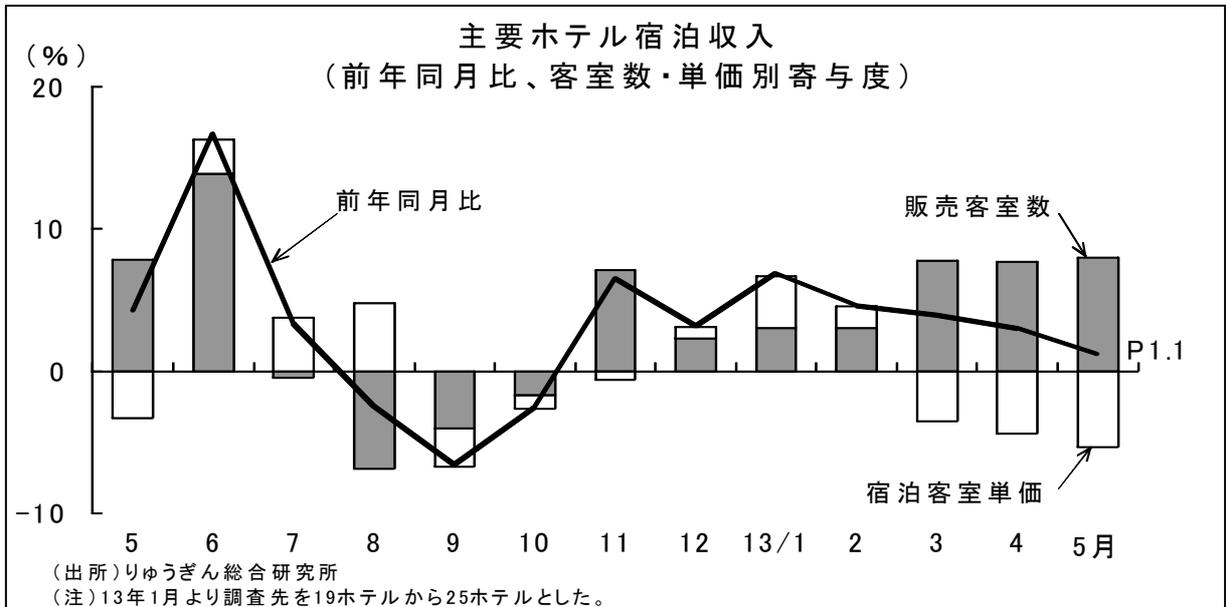
- 入域観光客数(外国客)は、中国本土からの入域が減少したものの、航空路線拡充効果などから、台湾、香港、韓国からの入域が増加し、前年同月比 47.4%増の 5万9,400人となり、4カ月連続で前年を上回った。
- 国籍別では、台湾 27,000人(同51.7%増)、香港 9,100人(同93.6%増)、韓国 5,700人(同256.3%増)、アメリカ・その他 13,600人(同38.8%増)、中国本土 4,000人(同37.5%減)であった。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率は7カ月連続で増加、売上高は7カ月ぶりに減少



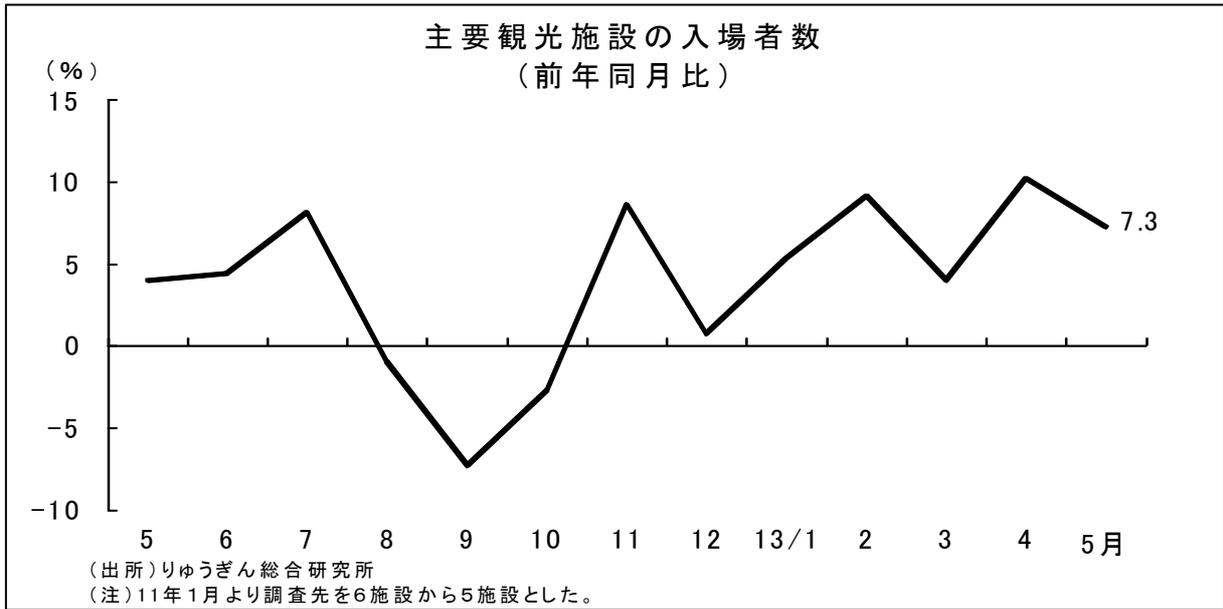
- ・ 主要ホテルは、客室稼働率（速報値）は61.2%と前年同月比4.3%ポイント上昇し7カ月連続で前年を上回った（調査先変更前前年客室稼働率 57.1%）。売上高（速報値）は、同 0.2%減と7カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 那覇市内ホテルは、客室稼働率は63.8%と、同 6.8%ポイント上昇し、5カ月連続で前年を上回った（調査先変更前前年客室稼働率 56.4%）。売上高は同 3.0%増と5カ月連続で前年を上回った。リゾート型ホテルは、客室稼働率（速報値）は59.5%と、同 3.0%ポイント上昇し、7カ月連続で前年を上回った（同 57.6%）。売上高（速報値）は同 1.5%減と7カ月ぶりに前年を下回った。

(4) 主要ホテル宿泊収入：7カ月連続で増加



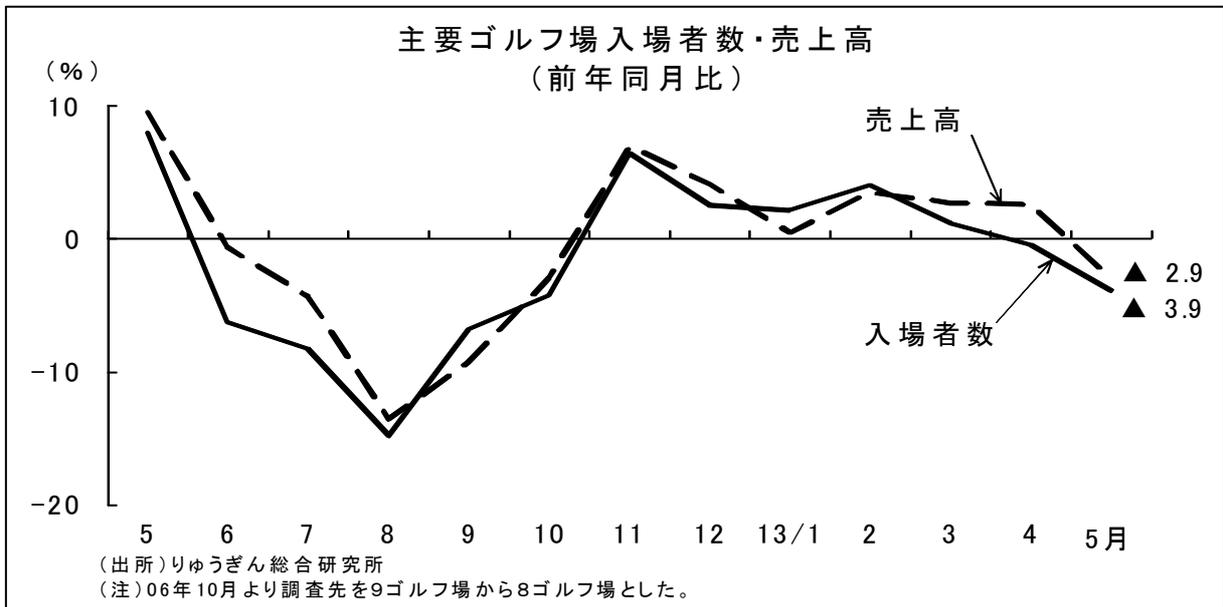
- ・ 主要ホテル売上高のうち宿泊収入（速報値）は、宿泊客室単価（価格要因）は3カ月連続で減少したものの、販売客室数（数量要因）が増加し、前年同月比 1.1%増と7カ月連続で前年を上回った。
- ・ 那覇市内ホテルは、宿泊客室単価は引き続き減少したが、販売客室数が引き続き増加したことから、同 2.8%増と5カ月連続で前年を上回った。
- ・ リゾートホテル（速報値）は、宿泊客室単価が3カ月連続で減少したが、販売客室数が引き続き増加したことから、同 0.6%増と7カ月連続で前年を上回った。

(5) 主要観光施設の入場者数：7カ月連続で増加



- 主要観光施設の入場者数は、前年同月比 7.3%増と、7カ月連続で前年を上回った。

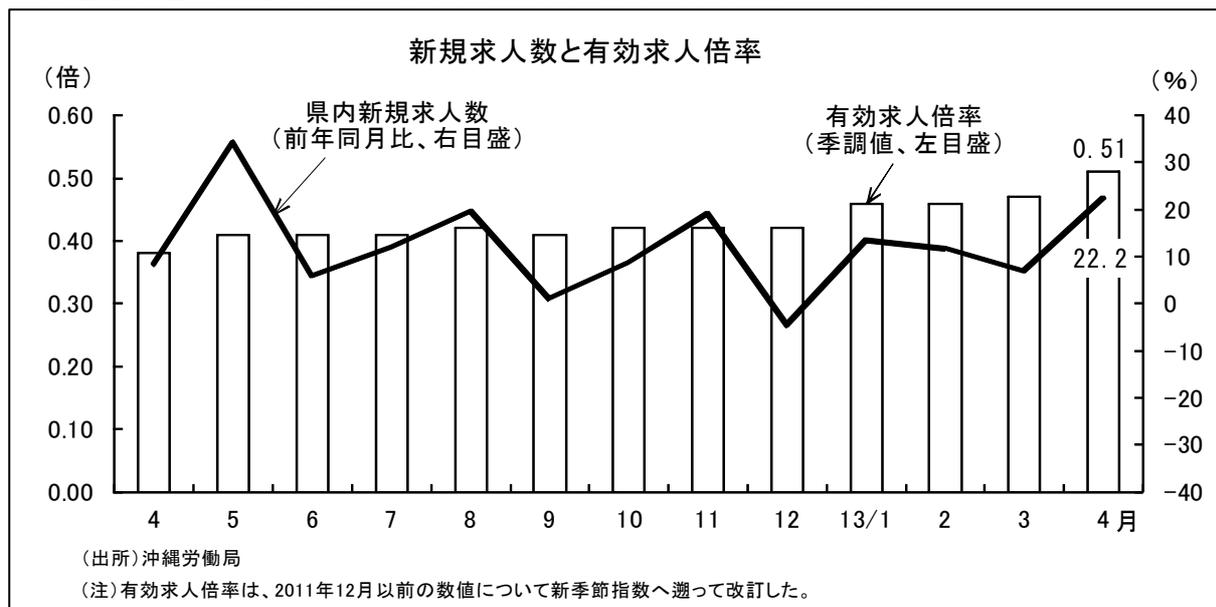
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数は2カ月連続で減少、売上高は7カ月ぶりに減少



- 主要ゴルフ場の入場者数は、県外客は増加したものの、県内客が減少し、前年同月比 3.9%減と、2カ月連続で前年を下回った。売上高は、同 2.9%減と7カ月ぶりに前年を下回った。客単価は若干上昇したものの、前年の梅雨より雨量が多かったことが影響し客数は減少した。

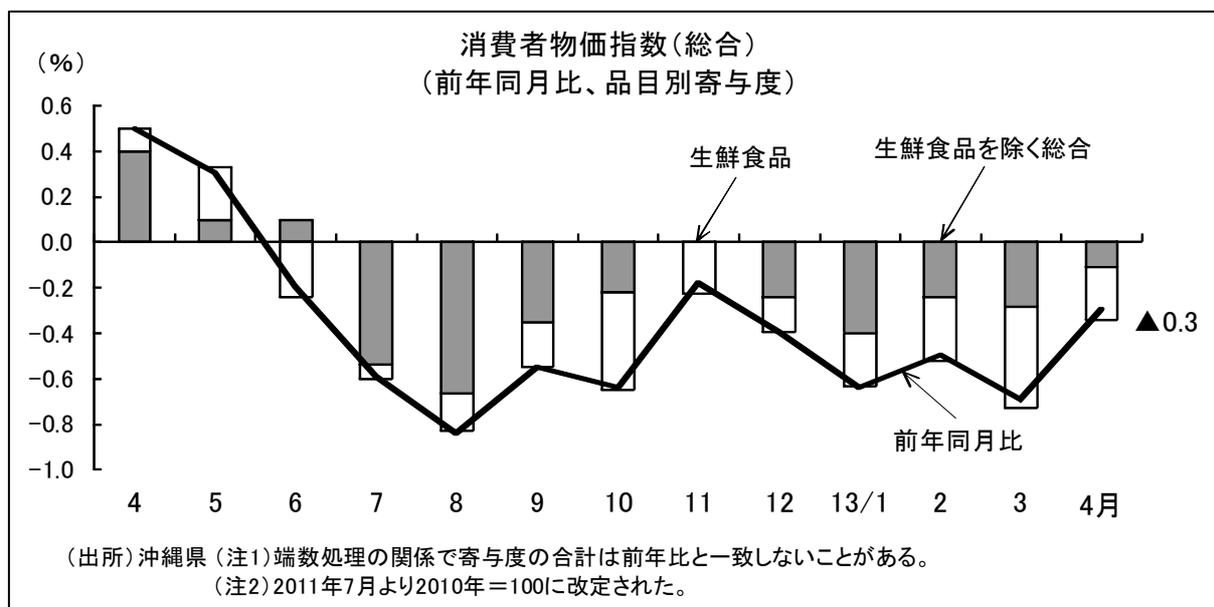
## 4. その他

(1) 雇用関連：新規求人数は増加、有効求人倍率（季調値）は上昇



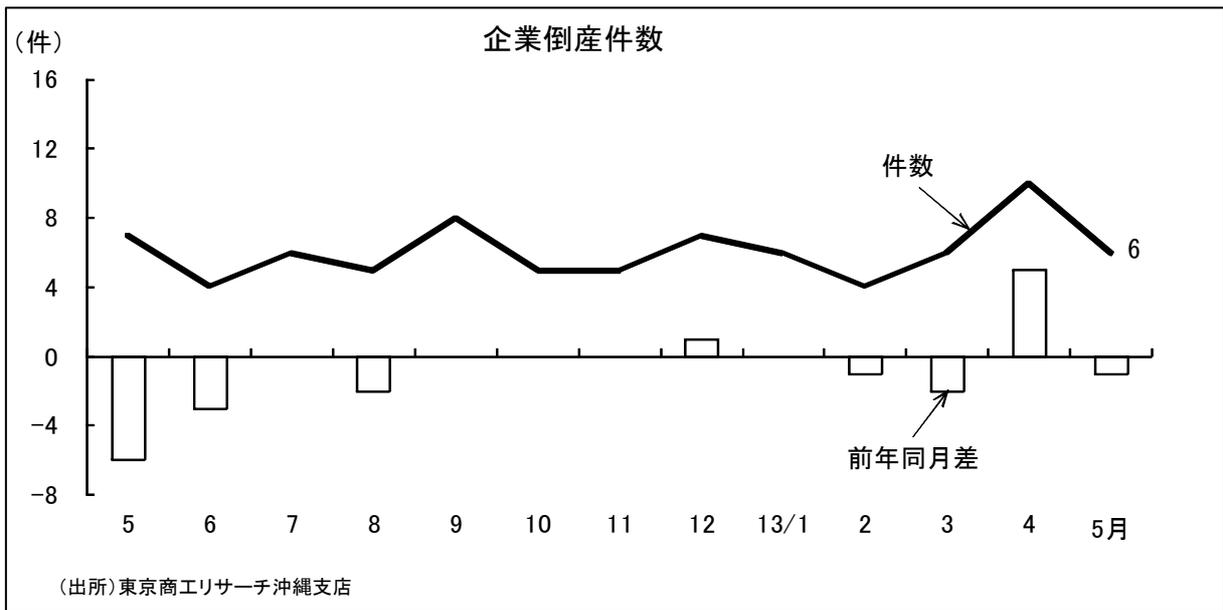
- ・ 新規求人数（4月）は、前年同月比 22.2%増となり4カ月連続で増加した。産業別にみると、サービス業、建設業、運輸業・郵便業、生活関連サービス業・娯楽業、医療・福祉などで増加し、卸売業・小売業で減少した。有効求人倍率（季調値）は0.51倍となり、前月より上昇した。
- ・ 労働力人口（4月）は、67万2,000人で同0.3%減となり、就業者数は、62万2,000人で同1.3%増となった。完全失業者数は5万人で同16.7%減となり、完全失業率（季調値）は6.8%と前月より0.8ポイント悪化した。

(2) 消費者物価指数（総合）：11カ月連続で下落



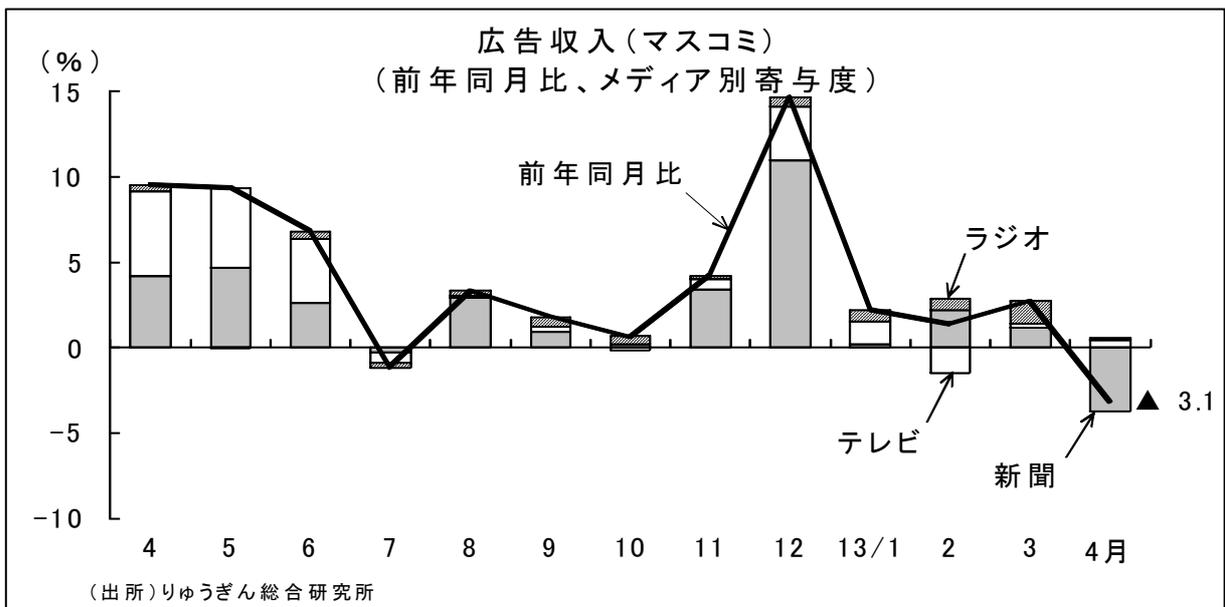
- ・ 消費者物価指数（4月）は、前年同月比 0.3%減と11カ月連続で前年を下回った。生鮮食品を除く総合も同0.1%減と下落した。
- ・ 品目別の動きをみると、交通・通信などが上昇し、食料、教養娯楽などが下落した。

(3) 企業倒産：件数、負債総額ともに減少



- ・ 倒産件数は6件となり前年同月比1件減となった。業種別では、小売業2件(同2件増)、製造業1件(同1件増)、卸売業1件(同1件減)、建設業1件(同1件減)、サービス業1件(同1件減)であった。
- ・ 負債総額は6億300万円となり、前年同月比17.3%の減少となった。

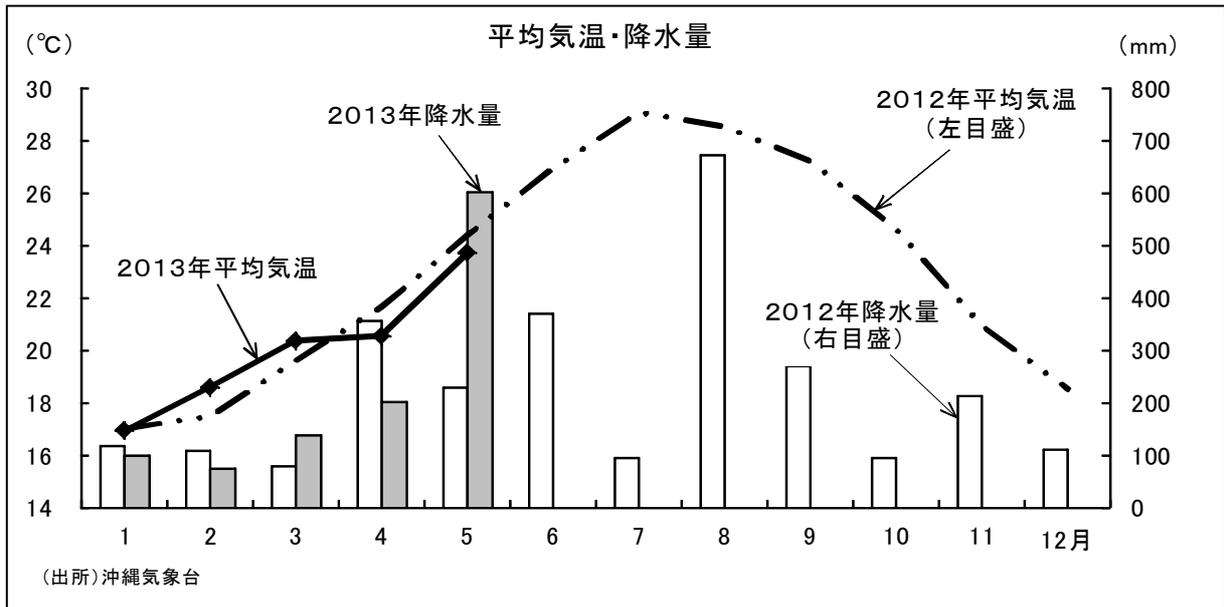
(4) 広告収入(マスコミ)：9カ月ぶりに減少



- ・ 広告収入(マスコミ：4月)は、前年同月比3.1%減となり、9カ月ぶりに前年を下回った。ラジオ、テレビは前年を上回ったが、新聞が前年を下回った。

(参考)

◇ 気象:平均気温・降水量 (那覇)



- 平均気温は 23.7℃と前年同月 (24.4℃)、平年 (24.0℃) より低かった。降水量は 602.5mmと前年同月 (229.5mm) より多かった。

沖縄県内の主要経済指標.....	17
//    金融統計.....	19

## 沖縄県内の主要経済指標(その1)

暦年	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	電気製品 卸売額	新車販売 台数	泡盛 出荷量	公共工事請負額		建築着工床面積	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2010	▲5.2	▲0.5	0.9	24.9	13.9	▲5.2	224,019	▲21.5	1,630.5	▲13.6
2011	1.5	0.5	2.4	▲12.3	▲17.5	▲3.9	233,769	4.4	1,702.6	4.4
2012	1.4	▲1.3	1.3	▲13.4	30.0	▲0.7	237,692	1.7	1,768.4	3.9
2012 4	6.0	0.3	1.4	▲9.1	86.3	▲9.3	9,119	▲33.7	145.1	▲44.7
5	3.7	▲0.6	0.7	▲5.6	72.6	▲5.7	10,208	47.4	193.5	52.8
6	▲0.8	▲3.5	▲2.2	▲26.8	53.2	4.2	15,723	33.7	170.4	0.0
7	▲10.5	▲5.4	▲1.3	▲20.7	32.1	2.8	28,340	27.8	163.7	27.2
8	7.2	▲1.5	1.4	▲18.3	5.3	5.9	26,136	16.6	165.0	▲17.3
9	▲4.1	2.5	5.8	▲5.0	2.7	▲9.2	31,974	10.2	145.1	12.0
10	▲4.1	▲1.9	1.9	▲1.0	▲0.5	2.4	29,432	41.3	169.7	42.1
11	3.2	▲0.3	2.7	▲13.6	3.6	1.1	19,400	1.7	142.2	2.5
12	0.4	▲2.0	1.4	▲3.0	2.5	▲2.7	14,997	20.2	137.8	30.0
2013 1	▲3.3	▲1.7	1.4	▲7.8	▲5.5	5.7	20,766	54.0	175.0	22.1
2	2.6	▲2.5	0.6	7.0	2.6	-	18,588	69.6	180.6	110.1
3	2.7	1.1	4.4	27.5	▲1.1	-	26,905	▲3.6	166.3	56.1
4	▲2.8	▲2.1	1.4	1.1	13.2	-	16,255	78.3	121.6	▲16.2
5	0.8	▲0.4	3.8	23.2	0.5	-	10,742	5.3	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	酒造組	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 電気製品卸売販売額は、2010年4月より調査先が7社から4社となった。Pは速報値。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、泡盛出荷量は沖縄県酒造組合。

暦年	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	入域観光客数		観光施設 入場者数
	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	千人	前年比	前年比
2010	10,709	▲8.8	▲5.8	▲2.3	▲7.3	▲12.6	2.1	5,855.1	3.6	▲2.7
2011	11,828	10.4	13.5	▲2.5	▲4.6	▲3.9	8.6	5,415.5	▲7.5	▲5.4
2012	12,713	7.5	3.4	▲0.7	3.6	▲6.1	▲7.0	5,835.8	7.8	6.2
2012 4	1,062	▲37.0	▲11.6	▲13.6	▲10.8	7.5	▲18.1	471.1	28.3	28.3
5	1,164	102.8	69.2	0.3	28.0	▲1.4	5.5	434.3	14.2	4.0
6	954	▲17.1	▲36.1	▲5.5	3.5	▲7.5	▲5.0	426.4	8.6	4.4
7	1,344	45.6	▲53.0	▲0.2	▲9.1	▲4.0	7.9	550.4	10.0	8.1
8	1,215	14.5	86.4	5.9	1.3	▲4.8	▲10.4	607.2	2.4	▲0.9
9	1,168	29.3	▲16.1	▲14.1	▲15.6	▲18.5	▲14.5	507.3	▲2.1	▲7.3
10	1,223	19.9	▲0.9	10.4	13.1	▲17.7	7.6	519.7	0.8	▲2.7
11	1,184	11.7	0.1	13.0	23.2	▲16.1	▲1.0	483.1	9.6	8.7
12	961	4.5	19.6	9.3	6.4	▲7.4	0.8	463.4	3.7	0.7
2013 1	1,083	9.1	▲26.9	12.5	14.3	7.7	14.9	429.7	6.1	5.3
2	1,162	62.5	48.0	1.2	▲0.8	4.7	▲5.1	463.2	6.5	9.2
3	1,103	51.1	36.5	▲3.2	4.1	16.1	5.1	568.9	6.7	4.0
4	1,041	▲2.0	83.1	10.9	26.9	6.4	17.2	516.3	9.6	10.2
5	-	-	▲68.5	14.8	18.7	8.8	11.5	477.6	10.0	7.3
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ				県文化観光スポーツ部 観光政策課		りゅうぎん 総合研究所	

注) 入域観光客数は、2011年以降の数値について混在率の変更により遡及修正した。Pは速報値。

注) 観光施設入場者数は、2011年1月より調査先が6施設から5施設となった。

## 沖縄県内の主要経済指標(その2)

暦年	ホテル稼働率 (実数)		ホテル売上高 (前年比)		ゴルフ場 入場者数	広告収入	入域観光客数 のうち外国客		鉱工業生産指数 (季調値)	
	市内	リゾート	市内	リゾート	前年比	前年比	千人	前年比	2005年=100	前年比
2010	68.7	71.2	▲3.3	▲3.2	▲1.8	2.8	284.7	23.6	96.9	▲2.1
2011	64.8	67.7	▲7.4	▲6.2	▲0.8	▲3.2	280.0	▲1.7	93.8	▲3.2
2012	69.4	71.1	3.4	4.1	▲1.2	4.3	376.7	34.5	-	-
2012 4	67.6	71.2	19.3	27.5	▲1.3	9.6	34.3	110.4	84.8	▲8.5
5	56.4	57.6	8.9	5.6	8.0	9.3	40.3	67.9	100.1	8.8
6	63.3	66.9	15.6	13.1	▲6.3	6.8	34.8	11.2	98.5	4.5
7	65.0	79.0	▲0.2	0.9	▲8.3	▲1.2	67.9	87.1	94.2	▲1.4
8	75.2	83.1	▲3.5	▲3.1	▲14.8	3.3	45.1	34.2	94.5	6.3
9	71.5	83.0	▲6.7	▲5.6	▲6.8	1.8	32.5	1.2	94.3	▲2.3
10	67.4	76.6	▲6.6	▲0.2	▲4.2	0.6	31.5	▲22.8	96.7	▲1.3
11	74.6	66.0	9.5	3.3	6.4	4.2	14.3	2.9	100.4	3.9
12	65.6	58.2	▲1.2	3.2	2.6	14.7	17.1	20.4	91.9	▲2.2
2013 1	68.6	60.7	2.7	5.0	2.2	2.2	15.6	▲21.6	91.3	6.7
2	88.6	78.1	0.3	2.8	4.0	1.4	24.5	52.2	98.0	8.1
3	84.8	78.6	0.2	4.8	1.2	2.7	24.6	7.4	102.5	15.6
4	75.0	73.1	3.0	3.8	▲0.5	▲3.1	49.9	45.5	-	-
5	63.8	P 59.5	3.0	P ▲1.5	▲3.9	-	59.4	47.4	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ					県文化観光スポーツ部 観光政策課			県企画部統計課	

注) ホテルは、2013年1月より調査先が19ホテルから25ホテルとなった。Pは速報値。

注) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。2009年2月より2005年=100に改定された。

暦年	企業倒 産件数	負債総額		消費者 物価指数	失業率 (季調値)	就業者数	有効求人 倍率 (季調値)	新 規 求人数 (県内)	通関 輸出	通関 輸入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	百万円	百万円
2010	49	11,048	▲55.9	▲0.5	7.6	0.8	0.31	13.1	82,119	207,981
2011	82	17,374	57.3	0.5	7.1	▲0.5	0.29	8.3	57,538	269,730
2012	71	10,745	▲38.2	0.0	6.8	1.3	0.40	9.6	80,654	336,046
2012 4	5	887	3.6	0.5	9.0	▲0.5	0.38	8.4	1,292	23,601
5	7	729	▲42.1	0.3	7.6	1.5	0.41	34.4	1,315	60,748
6	4	207	▲78.5	▲0.2	6.6	2.5	0.41	5.8	6,906	26,143
7	6	1,630	▲73.0	▲0.6	5.9	4.7	0.41	11.9	6,712	18,709
8	5	405	▲39.6	▲0.8	6.1	4.2	0.42	19.6	4,995	16,915
9	8	578	▲84.2	▲0.6	6.6	1.1	0.41	0.9	4,534	58,666
10	5	428	50.2	▲0.6	6.0	2.3	0.42	8.5	2,978	7,339
11	5	244	▲42.3	▲0.2	6.0	2.9	0.42	18.9	5,070	22,624
12	7	1,648	43.9	▲0.4	6.9	2.5	0.42	▲4.7	17,204	25,589
2013 1	6	20,703	4,116.5	▲0.6	6.5	3.1	0.46	13.6	7,309	29,364
2	4	406	63.1	▲0.5	5.6	5.3	0.46	11.7	22,240	18,473
3	6	813	▲75.0	▲0.7	6.0	3.6	0.47	6.8	7,572	21,286
4	10	3,295	271.5	▲0.3	6.8	1.3	0.51	22.2	11,315	21,982
5	6	603	▲17.3	-	-	-	-	-	7,958	29,147
出所	東京商工リサーチ沖縄支店		県企画部統計課			沖縄労働局		沖縄地区税関		

注) 消費者物価指数は、2011年7月より2010年=100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2011年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

## 沖縄県内の金融統計

年度	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出金利 (地銀3行)	手形交換高(金額は億円)				不渡実数 (金額)	不渡 発生率
	億円	億円	億円	%	千枚	前年比	金額	前年比	百万円	%
2010FY	3,401	4,479	▲1,052	2.403	305	▲6.1	4,627	▲5.4	530	0.115
2011FY	2,930	3,991	▲1,061	2.336	288	▲5.7	4,466	▲3.5	444	0.100
2012FY	2,993	4,016	▲1,024	2.223	274	▲4.9	4,323	▲3.2	424	0.098
2012 4	260	258	1	2.277	22	1.4	390	5.0	39	0.099
5	206	464	▲258	2.277	27	▲1.7	447	▲1.5	67	0.149
6	263	275	▲12	2.266	22	▲11.4	323	▲17.6	23	0.072
7	236	333	▲97	2.260	27	18.2	433	38.5	44	0.102
8	262	311	▲48	2.247	24	▲13.7	363	▲17.4	27	0.074
9	165	366	▲200	2.241	20	▲19.1	326	▲23.8	42	0.129
10	277	390	▲113	2.240	25	6.7	398	14.1	43	0.107
11	244	299	▲55	2.237	22	▲7.4	325	1.4	24	0.073
12	480	146	333	2.223	20	▲15.0	282	▲9.2	42	0.148
2013 1	124	571	▲446	2.212	23	2.6	364	0.6	25	0.069
2	223	287	▲64	2.201	21	▲9.3	322	▲6.0	22	0.069
3	253	316	▲62	2.156	20	▲7.6	351	▲8.8	26	0.075
4	266	302	▲35	2.152	25	9.7	463	18.7	132	0.286
5	-	-	-	-	24	▲13.2	392	▲12.4	71	0.182
出所	日本銀行那覇支店				那覇手形交換所					

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額)÷手形交換高(金額)×100

年度	地銀3行預金量 (信託勘定含む未残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む未残)		県内金融機関 の預貯金残高 (郵便貯金は含まない)		沖縄振興開発 金融公庫融資量 (未残)		沖縄県信用保証協会 債務残高	
	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2010FY	38,117	7.0	27,573	0.1	52,331	5.1	10,019	▲6.8	2,094	▲5.0
2011FY	40,508	6.3	27,969	1.4	54,664	4.5	9,464	▲5.5	1,880	▲10.2
2012FY	41,683	2.9	28,491	1.9	56,536	3.4	8,940	▲5.5	1,688	▲10.2
2012 4	40,786	5.7	27,108	1.9	54,985	4.8	9,385	▲5.7	1,839	▲10.0
5	40,510	4.0	26,919	1.4	54,673	3.6	9,331	▲5.6	1,783	▲11.0
6	40,992	1.9	26,960	1.1	56,515	3.2	9,216	▲5.8	1,758	▲11.5
7	40,308	2.3	27,022	1.9	55,954	2.9	9,161	▲6.1	1,749	▲11.2
8	40,134	1.8	27,163	2.4	55,445	2.5	9,148	▲5.8	1,738	▲11.1
9	40,487	0.8	27,575	1.6	55,450	2.0	9,000	▲7.0	1,746	▲10.6
10	40,014	0.7	27,171	2.0	54,628	2.2	8,943	▲7.2	1,735	▲11.0
11	40,550	2.4	27,234	2.3	55,602	2.9	9,155	▲4.7	1,725	▲10.6
12	40,445	2.2	27,522	2.8	55,696	3.5	9,053	▲4.8	1,727	▲10.5
2013 1	40,074	1.4	27,491	2.4	54,714	2.6	8,984	▲4.9	1,706	▲10.4
2	40,243	1.4	27,630	1.9	54,783	3.0	8,920	▲5.0	1,697	▲9.8
3	41,683	2.9	28,491	1.9	56,536	3.4	8,940	▲5.5	1,688	▲10.2
4	41,970	2.9	27,757	2.4	P 56,738	P 3.2	8,852	▲5.7	1,644	▲10.6
5	41,634	2.8	27,786	3.2	-	-	8,797	▲5.7	1,605	▲10.0
出所	琉球銀行		琉球銀行		日本銀行那覇支店		沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会	

注)Pは速報値。